

第6回地区庶務担当理事連絡協議会

平成21年10月28日（水）午後2時30分～

△久山府医副会長挨拶

久山府医副会長は冒頭の挨拶で新政権発足後の揺れ動く日医の動向に触れ、「唐澤日医会長、原中茨城県医師会長両氏の次期日医会長選出馬表明により、社会全般に対し日医分裂の印象を与え、さらなる日医の地盤沈下が懸念される」との見解を示し、また10月25日の日医臨時代議員会において唐澤日医執行部への厳しい批判の声が相次いで出された状況を報告した。次に10月26日に発表された安達府医副会長の中医協委員就任について報告するとともに、次期診療報酬改定に向けて大きなプラス要因であるとの期待感を示した。最後に新型インフルエンザの感染が急速に拡大し、基幹病院への入院患者、重症患者の急増が懸念されるため、軽症患者については各医療機関で対応していただくよう協力を求めるとともに、府薬務課および府医事務局における電話対応が限界に達していることから、不要不急の要件については控えていただくよう呼びかけた。

引き続き、安達府医副会長から中医協委員就任の挨拶を兼ねて、「診療報酬改定の作業の中で個人医療機関を代表する中医協委員がいなければ、改定の内容が非常に歪んだものになり、個人医療機関の経営が成り立たなければ日本の医療提供体制は崩壊することになるという観点から引き受けた訳であり、従来の中医協における日医の主張については全く異論はないので、基本的には日医の方針は継承していく」との意向を示した。

△報告ならびに協議事項

1. 京都府医師会役員・代議員等の選挙について（中野府医理事）

平成22年3月31日で任期満了を迎える府医役員、府医選管、地区選管および平成22年1月31日で任期満了を迎える府医代議員・予備代議員における選出方法、選挙日程等について説明した。

2. 最近の中央情勢について（内田府医理事）

9月下旬から10月下旬にかけて、社会・医療保険状況について説明した。

3. 園医協議会名簿の作成について（藤田府医理事）

園医協議会発足に対する各地区のご協力にお礼を述べ、現在小委員会で今後の活動方針を協議中であることを報告。また、園医名簿の作成にあたり幼稚園の園医が把握しにくいことから、園医を把握しておられる地区については情報をご提供いただくよう協力を呼びかけるとともに、今後は地区における園医の把握が重要になるとの見解を示した。

4. 新型インフルエンザ対策について（柏井府医理事）

新型インフルエンザ感染状況、ワクチン接種の状況（京都医報 11 月 1 日号 20 ページ参照）を報告するとともに、基幹病院の患者急増状況および府薬務課・府医事務局における電話対応の限界状況を説明し、会員のご理解ご協力と冷静な対応を求めた。

5. 学術講演会の今後の予定について（東府医理事）

11 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、積極的な参加を呼びかけた。

6. その他

①日本医師会「入会申込書」「退会届出書」「異動報告書」記入の手引き（担当者用）の配付について（中野府医理事）

他府県では日医入会等の手続きを地区医師会が担当されているので、日医から配付されてきたが、京都府は府医で担当しているので、参考までに配付した旨説明した。

②テレビ会議について（中野府医理事）

現在 5 地区にテレビ会議にご協力いただいているが、今般日医のシステム変更により 11 月のテレビ会議が実施できないことを報告し、11 月の庶務担については 5 地区におかれても府医会館へご足労いただくよう依頼した。